

# 貸借対照表

2017年 12月31日現在

栗山興産株式会社  
(単位：千円)

目	金額	科	目	金額
(資産の部)		(負債の部)		
流動資産	1,177,550	流動負債		335,441
現金・預金	347,347	支払手形		216,087
受取手形	177,680	買掛金		66,374
売掛金	295,052	短期借入金		0
製品・商品	119,926	未払金		2,127
仕掛品	0	未払費用		11,843
原材料	30,976	未払法人税等		22,008
貯蔵品	2,649	その他流動負債		8,828
前払費用	2,942	未払消費税		2,834
未収入金	0	リース債務(流)		1,441
短期貸付金	200,090	賞与引当金		3,899
繰延税金資産	6,424			
その他流動資産	964	固定負債		10,414
未収消費税	0	リース債務(固)		0
貸倒引当金	▲ 6,500	未払役員賞与		696
		退職給付引当金		9,718
固定資産	176,886			
(有形固定資産)	158,359	負債合計		345,855
建物	65,406	(純資産の部)		
構築物	1,028	株主資本		1,008,581
機械装置	73,588	資本金		18,000
車両運搬具	0			
工具・器具・備品	16,547	利益剰余金		990,581
建設仮勘定	0	利益準備金		4,500
有形リース資産	1,542	その他利益剰余金		986,081
一括償却資産	248	別途積立金		200,000
(無形固定資産)	14,731	繰越利益剰余金		786,081
ソフトウェア	14,731			
(投資その他の資産)	3,796	純資産合計		1,008,581
繰延税金資産	3,620			
その他資産	23	負債・純資産合計		1,354,436
貸倒引当金	0			
敷金	153			
資産合計	1,354,436			

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産： 移動平均法による原価法に基づく低価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)： 定額法

② 無形固定資産(リース資産を除く)： 定額法

ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。

#### (3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

使用人に対する賞与の支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

#### (4) その他計算書類作成のための重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

### 2. 当期純損益金額

当期純利益 99,698千円